

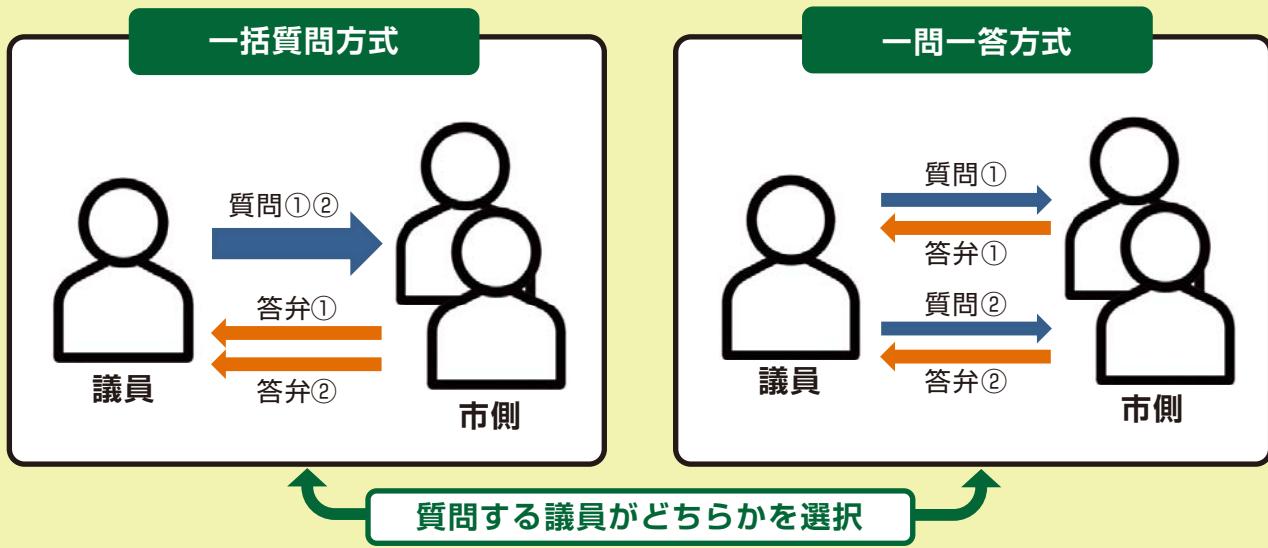
代表質問・一般質問に質問方式の選択制を導入

より分かりやすい議論を目指して

東広島市議会では、令和7年第4回定例会から、代表質問・一般質問の初回質問において、質問を行う議員が「一括質問方式」と「一問一答方式」のどちらかを選べるようになりました。これまで初回質問を一括質問方式、再質問を一問一答方式としていましたが、より分かりやすい議論とすることを目的に広報広聴委員会が提案し、議会運営委員会で検討を重ねた結果、導入を決定したものです。

一括質問方式は、複数の質問をまとめて提示するため、全体像を整理しやすいという利点がありますが、議場での傍聴やインターネット中継を視聴する側からすると、質問と答弁の関係が分かりにくいという欠点もあります。一方、一問一答方式は質問と答弁を交互に行うため、やり取りの流れが明確になり、個別の論点を理解しやすいのが特徴です。

第4回定例会では、一般質問を行った議員20人のうち8人が一問一答方式を選択しました。今回の変更により、市民の皆様にとっても議論の内容がより理解しやすくなり、政策理解や議会への関心の向上につながることが期待されます。今後も、「市民に開かれた議会」を目指し、分かりやすい議論の場づくりに取り組んでいきます。



議会運営委員会 委員交代のお知らせ

10月14日付で、議会運営委員会の委員に変更がありました。

- ・旧委員：鈴木 英士（未来の風）
- ・新委員：落海 直哉（市民クラブ）